

七尾市の将来像について

◇ 将来像 ◇

七尾湾と温泉をいかした 能登から世界への架け橋 ～ 人が輝く 交流体感都市 ～

(1) 強み

- ・ 能登島を囲む七尾湾をはじめ豊かな自然環境に大変恵まれています。
- ・ 七尾湾は、自然の宝庫であり、カキをはじめとする海産物の産地としても知られています。
- ・ 観光資源（和倉温泉や能登島）にも恵まれ、観光客（宿泊客数）が年間100万人を超える状況です。
- ・ モントレー・ジャズ・フェスティバルなどのイベントも開催するなど、芸術文化に係る情報発信や国際交流を進めています。
- ・ 能登最大の祭礼である青柏祭曳山行事が行われます。能登は祭り半島といわれるほどに、石崎奉灯祭、お熊甲祭、向田の火祭りなどをはじめとして、大小問わず、多くの祭りが行われています。

(2) 機会

- ・ 産業振興や観光客、交流人口の拡大等を図るため重要港湾七尾港、能越自動車道等の整備を促進します。
- ・ 文化・芸術の鑑賞や創造活動の場として、「能登演劇堂」、「七尾美術館」、「能登島ガラス美術館」に多くの人々が訪れ賑わいの創出が図られています。

(3) 目指す方向

- ・ 平成26年予定の北陸新幹線金沢開業に伴い、能登地区へ首都圏からの観光客等が訪れる機会が増えることから、能登ならではの本物の伝統、芸能、食文化に加え、新たな魅力づけに取り組みます。
- ・ 七尾市の豊富な地域資源とポテンシャルをいかすことで、世界中の人々を引き寄せ、来訪者と市民が本市の魅力を経験し、感動し、交流する「交流体感都市」の実現を目指します。
- ・ 能登半島の中核都市にふさわしい健全・堅実な自治体経営を実現し、自立できる地域づくりと市民が豊かに安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- ・ 市民同士や市の一体感を生み出すには、「交流」が重要なキーワードとなり、交流から生まれる市民のネットワークが、地域のまちづくりの原動力となるよう取り組みます。
- ・ 「交流体感都市」とは、市民同士や来訪者が日常的な交流を促し、市民の誰もがまちへの誇りと未来への確信を持って様々な分野で活躍する「世界に誇れる人と地域づくり」を目指すものです。